

2022年度

看護要員の処遇の改善に対する体制に関する計画

院長	事務長	立案者

策定日 2022年4月1日

評価日 2023年3月31日

看護要員の勤務状況	令和3年3月末日での勤務状況と支援制度の利用			
1 看護師数	常勤	106名 (±0)	非常勤	1名 (-1)
2 准看護師数	常勤	49名 (±0)	非常勤	3名 (±0)
3 看護補助者数	常勤	84名 (-1)	非常勤	10名 (±0)
4 出産育児支援制度利用者			3名	
5 院内保育園利用者			11名	
6 介護支援制度利用者			1名	
7 夜勤減免制度利用者(育児・介護)			8名	
8 障害者雇用			4名	(看護部3名) (事務1名)
9 外国人雇用			6名	

<p>長期目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護要員ができるように看護、介護の業務内容を見直し、負担軽減をする</li> </ul>
---

<p>達成状況の評価</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>看護部長、副看護部長が年度末に取り組みを3段階で評価する。</li> <li>評価に基づいて翌年の目標と具体策を立案する。</li> <li>病院運営会議で事務長、院長の承認を得て実行する。</li> </ol>
--

項目	現状の問題点	目標	具体策	達成状況の評価 ※1	備考
障害者雇用	・1名退職(キャリアアップ)	・離職者をださない	・南大沢学園より実習生1名受け入れ ・ふらん経由 就職希望者より1名採用	(A) B C	離職者なし 南大沢学園より実習1名受け入れし4月より採用
電子カルテ導入	・電子カルテ導入による一時的負担が予想される	・電子カルテ導入に関連した過剰な時間外勤務を生じない	・6月電子カルテ導入までのシミュレーション ・電子カルテ委員会によるフォロー体制 ・新たに生じる業務の把握と修正	(A) B C	6月より電子カルテ導入 電カル委員会1回/月開催 問題把握、適宜修正
外国人雇用	・コロナ過の影響で入職遅れている	・外国人の労働者を増やす	・受け入れ部署の外国人雇用に対する理解を深める ・学校と業務の両立できるよう調整 ・法人本部と連携し公私共に支援	(A) B C	6月ミャンマー特任技能2名入職 日本語学校に通学しながらパート勤務
出産育児介護支援	・出生時育児休業(産後パパ育児)の認知度が低い	・取得希望者が安心して制度を利用することができる。	・育休、産休制度の説明 ・該当者への個別の説明 ・法人本部との連携	(A) B C	育休、産休予定者に個別に説明 産後パパ育児2名取得
看護補助者の採用促進	・介護職員の応募が減少	・職員へケアワーカー紹介制度の周知 ・高校生の見学・体験の受け入れ	・紹介制度の充実 ・短時間雇用の促進 ・法人内奨学金制度の説明	(A) B C	高校生見学後に2名入職 紹介料UPで5名紹介入職
				A B C	

※1 A・・・達成 B・・・達成してはいないが改善傾向にあり継続して取り組む C・・・改善していない。目標と具体策の見直しが必要